

# 地域経済成長プランに 基づく取組状況について

【目次】

● **戦略Ⅰ 中小企業の経営基盤の強化、変革・挑戦の促進**

方向性① 各支援機関と連携した経営課題等への総合的支援

1 大阪産業創造館における総合的支援	3
2 大阪産業技術研究所を通じた技術力の強化	4
3 資金面等の支援	5
4 人材の確保・定着、多様な人材の活躍促進	6
5 DX・GXの促進	6
6 中小企業の魅力、支援施策等の発信	7

方向性② 地域特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援

1 商店街・卸等の活性化	7
2 ものづくり産業の活性化	8

● **戦略Ⅱ イノベーションが次々と生まれる好循環づくり**

方向性① スタートアップの創出・成長の加速とイノベーション・エコシステムの強化

1 メリハリのあるスタートアップ支援	9
2 国内外のスタートアップ支援ネットワークの強化と新たなスタートアップの担い手の創出	10
3 大阪のエコシステム、スタートアップの魅力発信	10

方向性② 先端技術等を活用した社会課題解決に資する新事業創出の支援

方向性③ 創業の支援

● **戦略Ⅲ 国際ビジネス交流の促進や人・投資等の呼び込みによるビジネスチャンスの創出**

方向性① 国際ビジネス交流の促進

方向性② 国際金融都市の実現に向けた取組

方向性③ 国内外からの投資を呼び込むための魅力的なビジネス環境の整備

方向性④ 交流人口・関連マーケットの拡大に向けた都市魅力の向上

方向性⑤ 戦略的な MICE 誘致

戦略Ⅰ 中小企業の経営基盤の強化、変革・挑戦の促進	
※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む	
方向性①	各支援機関と連携した経営課題等への総合的支援
<p>1. 大阪産業創造館における総合的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワンストップ窓口における専門家によるコンサルティング（経営相談、専門家派遣等）、経営者向けワークショップ・セミナー、国内外企業とのビジネスマッチングや商談会・交流会、商品開発支援など、ニーズに応じた多様な支援プログラムを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大阪産業局事業交付金 【R6：679,644千円, R7：668,170千円】</li> <li>◇ 頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業 【R6：40,069千円】</li> </ul> </li> </ul> <p>（取組実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 経営全般に関する相談対応や、時宜に応じたテーマでのセミナー実施、販路開拓に向けたマッチングなど、企業ニーズに即応した様々なプログラムを実施</li> <li>➤ 支援事業による経営力強化件数 R6：449件、R7：779件（9月末時点） ※R7からは、経営基盤の強化に結びつくもの全般に範囲を拡大し、セミナー・伴走支援などの実績を含めた件数としている。</li> <li>➤ 支援サービス利用者満足度 R6：95.7%、R7：96.46%（9月末時点）</li> <li>➤ 大阪産業創造館における経営相談への対応件数（コンサルタント派遣含む） R6：6,314件、R7：3,261件（9月末時点）</li> <li>➤ 支援プログラム開催件数 R6：299件、R7：156件（9月末時点）</li> <li>➤ 大阪産業局に対する交付金制度の構築・運用開始（R3年度～）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな需要の創出が期待できる新製品・新サービスの事業化をめざすプロジェクトについて、市が認定を行ったものに対し、きめ細かな伴走支援により事業活動上の様々な課題解決を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大阪産業局事業交付金 【R6：679,644千円, R7：668,170千円】（再掲）</li> </ul> </li> </ul> <p>（取組実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ プロジェクト認定件数 R6：10件、R7：10件（9月末時点）</li> <li>➤ プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合 R6：100%、R7：75%（9月末時点）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高付加価値な製品・サービスの創出につながるよう、クリエイターのネットワークを活かし、クリエイターとものづくり企業等異業種企業との協働を促すビジネスイベントの開催やマッチング支援等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大阪産業局事業交付金 【R6：679,644千円, R7：668,170千円】（再掲）</li> </ul> </li> </ul>	

(取組実績)

- クリエイターと企業とのマッチング件数  
R6 : 493 件
- ビジネスマッチングイベントの開催回数  
R6 : 90 件、R7 : 32 件 (9月末時点)

- 事業承継に関する相談に専門家が対応するほか、事業承継の必要性の啓発や基礎知識習得のためのセミナー、後継者育成のためのビジネススクール等を実施する。

- ◇ 大阪産業局事業交付金  
【R6 : 679,644 千円, R7 : 668,170 千円】(再掲)

(取組実績)

- 大阪産業創造館における経営相談への対応件数 (コンサルタント派遣含む) (再掲)  
R6 : 6,314 件、R7 : 3,261 件 (9月末時点)
- 事業承継にかかるセミナー開催件数  
R6 : 6 件、R7 : 2 件 (9月末時点)
- 「大阪府事業承継ネットワーク」への参画

- 大阪商工会議所と共同で策定する「事業継続力強化支援計画」に基づき、国の事業継続力強化計画認定制度の活用促進をはじめ、事業継続計画 (BCP) に関するセミナー等の開催、専門家の相談対応や派遣・指導等により、中小企業における BCP 策定の支援を行う。また、国の認定を受けた「(連携)事業継続力強化計画」に基づく、中小企業者の設備導入の資金調達を支援する制度融資 (設備投資応援融資) を実施する。

- ◇ 大阪産業局事業交付金  
【R6 : 679,644 千円, R7 : 668,170 千円】(再掲)

(取組実績)

- BCP にかかるセミナー開催件数  
R6 : 2 件、R7 : 2 件 (9月末時点)
- BCP 策定・演習サポートプログラムによる支援企業数  
R6 : 9 社、R7 : 18 社 (9月末時点)
- 大阪産業創造館で提供しているツール「コンパクト BCP」視聴回数  
R6 : 3,381 回、R7 : 553 件 (9月末時点)

## 2 大阪産業技術研究所を通じた技術力の強化

- 大阪産業技術研究所において、技術相談や試験分析、受託研究を行い、中小企業の抱える技術面の課題解決を支援するとともに、中小企業が新たな技術・製品等の開発に効果的に取組めるよう、共同研究開発プロジェクトの組成や推進、実用化の支援を行う。

- ◇ 産業技術研究所運営費交付金等  
【R6 : 1,799,987 千円, R7 : 2,024,408 千円】

(取組実績)

- 大阪産業技術研究所の技術相談の満足度  
R6 : 97.3%
- オーダーメイド試験 (※旧簡易受託研究) 及びサポート研究 (※旧受託研究)  
R6 : 955 件、R7 : 519 件 (9月末時点)

- 学会発表・技術講演・主催セミナー等の技術情報の発信件数  
R6：898件、R7：382件（9月末時点）
- 製品化成果事例件数  
R6：38件、R7：38件（9月末時点）
- 知的財産出願・保護件数  
R6：30件、R7：14件（9月末時点）
- 共同研究開発プロジェクトの組成等に向けた支援  
R6：次世代高速通信ワーキンググループ設立、メンバー79社  
R7：ワーキンググループメンバー増加、電池ワーキンググループ（R5:33社→R7:96社）、次世代高速通信ワーキンググループ（R6:79社→R7:102社）  
（9月末時点）

- 次世代高速通信（5G/6G）関連素材の技術開発支援など、大阪産業技術研究所において、ものづくり中小企業の技術力強化とビジネスチャンス拡大に向けた技術支援を実施する。

◇ 万博を契機としたものづくり中小企業の技術開発支援事業（Beyond5G 開発支援）

【R6：82,910千円、R7：19,500千円】

（取組実績）

R6：対象事業者の研究開発を技術的にサポート、測定システムを拡充

R7：大阪・関西万博大阪ヘルスケアパビリオン「リボンチャレンジ」にて展示（令和7年8月26日～9月1日）、製品化に向けた最適化を実施し試作品を作製予定（9月末時点）

### 3 資金面等の支援

- 大阪信用保証協会と連携し、小規模企業者等の経営支援や設備投資による経営基盤の強化を支援する本市制度融資等を実施する。

◇ 中小企業融資基金繰出金等

【R6：989,000千円、R7：879,000千円】

◇ セーフティネット保証の認定等にかかる事務費等

【R6：37,930千円、R7：11,436千円】

（取組実績）

- 関係機関等と連携した制度融資等の実施やセーフティネット保証の認定などを通じて、市内中小企業の円滑な資金調達を支援

- 制度融資の保証承諾実績

R6：37百万円、R7：10百万円（9月末時点）

- セーフティネット保証等認定件数実績

R6：3,418件、R7：167件（9月末時点）

- 地域未来投資促進法に基づき策定した基本計画により、地域経済牽引事業を促進する。

（取組実績）

- 地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画の承認件数

R6：2件、R7：1件（9月末時点）

- 労働生産性の向上に向け、中小企業の労働生産性を向上させる先端設備等導入計画の認定制度を実施する。

(取組実績)

- 先端設備等導入計画認定件数

R 6 : 142 件、R 7 : 63 件 (9 月末時点)

#### 4 人材の確保・定着、多様な人材の活躍促進

- 「人材に関わる課題解決プログラム」として、人材の確保・定着に向けた講座・セミナーや専門家による相談対応を実施する。また、大企業等と中小企業・スタートアップのマッチングを支援するなど、副業・兼業人材の活用を促進する。

- ◇ 大阪産業局事業交付金

【R 6 : 679, 644 千円, R 7 : 668, 170 千円】(再掲)

(取組実績)

- 大阪産業創造館における経営相談への対応件数 (コンサルタント派遣含む) (再掲)

R 6 : 6, 314 件、R 7 : 3, 261 件 (9 月末時点)

- 人材にかかるセミナー開催件数

R 6 : 20 件、R 7 : 17 件 (9 月末時点)

- 外国人材受入れに関する支援機関等と連携し、外国人材受入促進に関する情報発信や、相談対応、支援機関への取りつぎなど、中小企業の外国人材の採用をサポートする。

- ◇ 外国人材マッチングプラットフォーム

【R 6 : 15, 000 千円, R 7 : 15, 000 千円】

(取組実績)

- 中小企業の人材不足への対応として、外国人材の受入れ促進を図るため、官民連携により R 4 年 7 月に外国人材マッチングプラットフォームを立ち上げ、大阪産業局を事務局とした大阪外国人材採用支援センターにおいて支援を実施。

- 中小企業の人材に関する課題解決につながった件数

R 6 : 180 件、R 7 : 108 件 (9 月末時点)

- ものづくり企業と工業系学科を有する高校との交流会を実施し、人材不足に直面するものづくり企業の人材確保につなげる。

(取組実績)

- 工業高校等ともものづくり企業との交流会 参加企業数・学校数・参加者満足度

R 6 : 15 社・9 校・参加者満足度 96%

R 7 : 14 社・6 校・参加者満足度 95% (9 月末時点)

#### 5 DX・GX の促進

- 大阪産業創造館において、DX・GX 推進による生産性の向上や販路の拡大等を図るため、経営相談やセミナーをはじめとした各種支援プログラムを実施する。

- ◇ DX 高度化支援事業

【R 6 : 29, 627 千円, R 7 : 29, 627 千円】

(取組実績)

- DX高度化支援事業による経営力強化件数  
R6：101件、R7：116件（9月末時点）

## 6 中小企業の魅力、支援施策等の発信

- 万博へ来場する若い世代に対し、万博会場内で市内の中小ものづくり企業の魅力や高い技術力を発信する。
  - ◇ 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業  
【R6：73,487千円、R7：99,787千円】
- (取組実績)
  - R6：万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施
  - R7：万博会場内で9月5～7日に「大阪のものづくり おもしろミライ展」を開催。市内ものづくり企業23社が参画し、延べ10,662人が来場。
- 「中小企業の日（7月20日）」に関連し、中小企業の魅力を発信し、重要性について理解を深めるための情報発信の取組を実施する。
- 各支援拠点の認知度向上を図り、各種支援事業の活用をより一層促進していくため、広報誌やメールマガジン、WEBサイト等を活用することにより情報発信を行う。
  - ◇ 大阪産業局事業交付金  
【R6：679,644千円、R7：668,170千円】（再掲）
- (取組実績)
  - 大阪府、大阪府中小企業家同友会との共催により、「中小企業の日」に関連するイベントを実施
  - 中小企業の魅力が伝わる記事を取りまとめたWebコンテンツ「今だから読みたい中小企業のお話」を作成し、産業創造館ホームページに掲載

## 方向性② 地域特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援

### 1 商店街・卸等の活性化

- 商店街・問屋街・小売市場が、新たな魅力づくりをめざして、社会的・公共的役割を果たすために知恵と工夫を活かして主体的に取り組む活性化のためのハード事業に対し補助金を交付する。
- 商店街での消費意欲を喚起し、にぎわいを創出するため、キャンペーン期間を設け商店街で多様なイベントを展開し、消費拡大や回遊性の向上を図る。
- 商店街・卸等の集客力・販売力の向上に向けて、課題解決や活性化に取り組み、成果をあげている市内商店街のキーパーソンや専門家を「あきない伝道師」として派遣し、実践的な取組等に対する支援を実施する。
- 大阪商工会議所・大阪市商店会総連盟との連携による商店街の空き店舗を活用した新たな店舗の開業支援及び人材育成により商店街の自律的な活性化を図る。
- 不動産情報検索サイト内に大阪市の商店街等の空き店舗情報を集約して掲載し、空き店舗と入居者のマッチングを促進する。
- 大阪市ふるさと寄附金制度に「商店街振興」の寄附メニューを設け、大阪市あきないグランプリ優秀賞など表彰・認定している店舗・商品の中から返礼品を贈呈し、全国の寄附者に市内商店街の魅力発信と愛着の醸成を図る。
  - ◇ 商業魅力向上事業  
【R6：67,986千円、R7：78,233千円】

- ◇ あきない伝道師による商店街強化事業  
【R6 : 3,540 千円, R7 : 3,541 千円】
- ◇ 商店街空き店舗マッチング促進事業  
【R6 : 1,200 千円, R7 : 1,200 千円】

(取組実績)

- 商店街等ハード事業支援件数  
R6 : 20 件、R7 : 19 件 (予定) (9月末時点)
- 商店街等ハード事業により、来街者の満足度が向上したと回答した商店街等の割合  
R6 : 100%
- あきない伝道師派遣 (派遣団体数・派遣回数)  
R6 : 17 団体・計 113 回、R7 : 6 団体・計 8 回 (9月末時点)
- あきない伝道師派遣によって実際に商店街の活性化が図られたと回答した商店街等の割合  
R6 : 100%
- 商店街振興ふるさと寄附金額  
R6 : 43,792 千円、R7 : 12,876 千円 (9月末時点)
- にぎわい創出事業参加商店街数  
R6 : 25 商店街 (うち 1 件中止)  
R7 : 12 商店街 (うち 1 件中止) (9月末時点)

## 2 ものづくり産業の活性化

- 優れた技能者 (大阪テクノマスター) による技能の伝承や将来のものづくりを担う人材の育成、高度な技術を有する中小企業等の魅力発信等の活動を展開する。
- 工場立地法や同法にかかる緑地面積率の緩和を定める条例を適正に運用することで、ものづくり企業の操業環境の保全と地域との調和を図る。
- 地域のものづくり企業の個別訪問等を通じて課題等を把握し、支援策の効果的な立案・推進やものづくり企業の活性化につなげる。
- 企業支援情報の提供や、地域企業の支援・活性化の取組情報や先進事例等の共有を図ることにより、区役所と連携した企業支援活動を展開する。
  - ◇ 大阪テクノマスター事業  
【R6 : 993 千円, R7 : 992 千円】

(取組実績)

- 大阪テクノマスター認定者による活動 (延べ人数)  
R6 : 5 人、R7 : 1 人 (予定) (9月末時点)
- 区役所への企業支援情報提供回数  
R6 : 12 回、R7 : 6 回 (9月末時点)

方向性① スタートアップの創出・成長の加速とイノベーション・エコシステムの強化

1 メリハリのあるスタートアップ支援

- スタートアップ企業の成長段階（特にシード・アーリー期）に応じたきめ細やかな個社支援を行うなど、世界で活躍するスタートアップの創出を見据えた支援をおこなっていく。
- 万博発スタートアップの事業化に向け、カーボンニュートラル（CN）等に資する有望な大学研究成果等を発掘し、大企業やベンチャーキャピタルとのマッチングや連携等を積極的に推進、研究開発の進展やプロトタイプの作成、ビジネス化を支援する。
- 産学官連携を促進し、大学の研究・技術シーズの実用化を図り、大学発スタートアップの創出につなげる。

◇ 大阪産業局事業交付金

【R6：679,644千円、R7：668,170千円】（再掲）

◇ カーボンニュートラル（CN）等新技術ビジネス創出支援事業

【R6：30,000千円、R7：30,000千円】

◇ イノベーション創出支援補助金

【R6：13,279千円、R7：11,279千円】

◇ イノベーション創出にかかる事務費

【R6：138,286千円、R7：141,826千円】

（取組実績）

- OIH シードアクセラレーションプログラム（OSAP）支援企業数  
R6：12社、R7：6社（9月末時点）
- 国アクセラレーションプログラム参加企業のサポートを実施。  
R6：3社、R7：2社（9月末時点）
- 支援プログラムにおける資金調達額  
R6：186億円、R7：118億円（9月末時点）
- イノベーション創出支援補助金採択事業数  
R6：6件、R7：5件（9月末時点）
- プロジェクトの創出・推進支援件数  
R6：28件（TEQS分）・71件（OIH分）

- 大阪産業技術研究所において、産業支援機関、大学、経済団体、金融機関等との連携を強化し、研究開発から製品化・製造支援まで、企業ニーズに応じた様々な支援を実施する。

◇ 産業技術研究所運営費交付金

【R6：1,799,987千円、R7：2,024,408千円】（再掲）

（取組実績）

- 大阪産業技術研究所の技術相談の満足度  
R6：97.3%
- オーダーメイド試験（※旧簡易受託研究）及びサポート研究（※旧受託研究）  
R6：955件、R7：519件（9月末時点）
- 学会発表・技術講演・主催セミナー等の技術情報の発信件数  
R6：898件、R7：382件（9月末時点）

- 製品化成果事例件数  
R6 : 38 件、R7 : 38 件（9月末時点）
- 知的財産出願・保護件数  
R6 : 30 件、R7 : 14 件（9月末時点）
- 共同研究開発プロジェクトの組成等に向けた支援  
R6 : 次世代高速通信ワーキンググループ設立、メンバー79 社  
R7 : ワーキンググループメンバー増加、電池ワーキンググループ（R5:33 社  
→R7:96 社）、次世代高速通信ワーキンググループ（R6:79 社→R7:102 社）  
（9月末時点）

## 2 国内外のスタートアップ支援ネットワークの強化と新たなスタートアップの担い手の創出

- 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として、京阪神での連携を図ることでイノベーションの促進施策をさらに発展させ、より強力なエコシステムを形成し、大阪のスタートアップの成長の加速化を図る。
- 大阪市や大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム等のネットワークを活用して、国内外からスタートアップや投資家を呼び込み、マッチングに軸足を置いたイベントを開催する。
- 大阪イノベーションハブ（OIH）に学生や若手起業家、支援主体が気軽に利用・相談・交流できる仕組みを構築する。
  - ◇ 大阪産業局事業交付金  
【R6 : 679,644 千円, R7 : 668,170 千円】（再掲）
  - ◇ スタートアップ・エコシステム拠点都市事業  
【R6 : 24,985 千円, R7 : 24,985 千円】
  - ◇ 大阪イノベーションハブ機能刷新事業  
【R7 : 170,000 千円】
  - ◇ 新たなグローバルスタートアップイベントの開催  
【R7 : 128,000 千円】

### （取組実績）

- 既存企業や大学などが参画する OIH パートナー会員の純増数  
R6 : 49 社、R7 : 27 社（9月末時点）  
※起業家等の会員数 : 1,510 者・パートナー会員 : 551 社（R7.3月末時点）
- 新たなグローバルスタートアップイベントの商談数  
R7 : 600 件以上（9月末時点）

## 3 大阪のエコシステム、スタートアップの魅力発信

- エコシステムのブランディングを行い、大阪の売りとなるスタートアップを SNS やトッププロモーションにより積極的に発信する。
- スタートアップや投資家にとって実利のあるイベントを開催し、大阪・関西が誇るスタートアップを広く国内外に発信する。
  - ◇ 大阪産業局事業交付金  
【R6 : 679,644 千円, R7 : 668,170 千円】（再掲）
  - ◇ 新たなグローバルスタートアップイベントの開催  
【R7 : 128,000 千円】（再掲）

### （取組実績）

- 新たなグローバルスタートアップイベントの参加者数（オンライン参加含む）  
R7：約3,500人

方向性② 先端技術等を活用した社会課題解決に資する新事業創出の支援

- 先輩起業家等によるアドバイスや技術支援、マッチング、セミナーや研究会の開催、インキュベーションオフィスの提供、IoT ビジネスに特化したビジネス創出プログラムの実施など、IoT やロボットテクノロジー、5G、AI 等に加え、新たな技術や関連市場の動向等を注視しながら、それらの先端技術を活用した新たなビジネスの創出・成長を支援する。
- 「5G X LAB OSAKA」を拠点に、ビジネスのアイデアづくりから事業化まで一貫した支援を実施し、5G 関連ビジネスの創出を推進する。また、スタートアップ等と大企業とのマッチング、5G を活用した新製品・新サービスの開発及び試行的な導入にかかる経費の補助、事業検証支援を実施する。
- 先端技術を活用した製品・サービスの開発や社会実装に不可欠な実証実験を促進するため、大阪府や大阪商工会議所との連携等により、効果的な実証実験となるようコーディネートを実施し、公共空間・商業施設等を実証フィールドとして提供する。
- 国、大阪府、関係局等と連携し、万博における「空飛ぶクルマ」の実現とその後の商用運航拡大に向けた取組を推進する。

◇ 大阪産業局事業交付金

【R6：679,644千円，R7：668,170千円】（再掲）

◇ 5G ビジネス創出プロジェクト

【R6：81,323千円，R7：57,196千円】

◇ 「空飛ぶクルマ」社会実装促進事業

【R6：224,560千円，R7：248,103千円】

◇ イノベーション創出にかかる事務費

【R6：138,286千円，R7：141,826千円】（再掲）

（取組実績）

- ソフト産業プラザ（インキュベーションオフィス）入居率  
R6：79.4%、R7：94.7%（9月末時点）
- 5Gの技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」において「5G ビジネス創出プロジェクト」として、5Gの機運醸成からビジネス構築までの各種プログラム（セミナー・研究会、ビジネスアイデアコンテスト、マッチングプログラム、5G ビジネス補助事業）を実施。（R3～）
- 5G ビジネス開発補助金採択件数  
R6：3件、R7：2件（9月末時点）
- 実証実験の支援件数（IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラムによる支援件数）  
R6：14件、R7：14件（9月末時点）

- 「介護・福祉・健康分野」や「環境・エネルギー分野」に関する製品・サービスの展示場を設置し、販路開拓等の支援を行う。

◇ ATC エイジレスセンター事業

【R6：349,691千円，R7：351,581千円】

◇ ATC グリーンエコプラザ事業

【R6：208,257千円，R7：209,383千円】

(取組実績)

- ATC エイジレスセンターへの出展企業数・ビジネスマッチング件数  
R6 : 101 社・1,602 件、R7 : 113 社・169 件 (9月末時点)
- ATC グリーンエコプラザへの出展企業数・ビジネスマッチング件数  
R6 : 128 社・539 件、R7 : 131 社・109 件 (9月末時点)

- デザインビジネスの活性化に向けて、創業間もないデザイナーの育成のため、セミナーやイベント・交流会等を実施するとともに、インキュベーションオフィスの提供や常駐スタッフによるサポートを行う。

◇ 大阪デザイン振興プラザ事業

【R6 : 190,366 千円, R7 : 191,395 千円】

(取組実績)

- セミナー・展示会等開催回数  
R6 : 7 件、R7 : 4 件 (9月末時点)
- デザイン振興プラザ (インキュベーションオフィス) 入居率  
R6 : 64.3%、R7 : 60.7% (9月末時点)

- 大阪産業技術研究所において、企業、大学、公的機関、銀行等によるイノベーションをコーディネートするプラットフォーム「おおさかグリーン TECH コンソーシアム」を運営し、各種展示会への共同出展やプロジェクト創生を支援する。特に関連企業の集積など強みを持つ電池等の分野で企業間ネットワーク形成を通じたオープンイノベーションの推進に取り組む。

◇ 産業技術研究所コーディネート事業

【R6 : 41,237 千円, R7 : 41,237 千円】

(取組実績)

- R6 : 次世代高速通信ワーキンググループ設立、メンバー79 社
- R7 : ワーキンググループメンバー増加、電池ワーキンググループ (R5:33 社→R7:96 社)、次世代高速通信ワーキンググループ (R6:79 社→R7:102 社)  
(9月末時点)

方向性③ 創業の支援

- 創業に関する基礎知識の習得や課題解決のためのセミナー・講座や交流会、各分野の専門家によるコンサルティングを実施するとともに、創業準備活動を支援する。

◇ 大阪産業局事業交付金

【R6 : 679,644 千円, R7 : 668,170 千円】(再掲)

(取組実績)

- 産業創造館の支援事業による創業・起業件数  
R6 : 137 件、R7 : 88 件 (9月末時点)
- 産業創造館における創業支援事業の支援者数  
R6 : 4,379 件、R7 : 2,643 件 (9月末時点)

- 不安定な創業期を乗り越える確度の高い創業者を輩出するため、多様な創業形態に対応した「特定創業支援等事業」を実施する。

(取組実績)

➤ 「特定創業支援等事業」による証明書発行件数

R 6 : 339 件、R 7 : 205 件（9月末時点）

- 「外国人起業促進支援窓口」を設置し、外国人の起業活動の在留資格（通称：スタートアップビザ）の認定申請に必要となる「起業準備活動計画」の作成支援や、認定後の起業準備活動のサポートを行い、外国人起業家の受入拡大や起業促進を図る。

◇ 大阪産業局事業交付金

【R 6 : 679, 644 千円, R 7 : 668, 170 千円】（再掲）

（取組実績）

➤ 外国人起業活動促進事業にかかる確認証明書発行件数

R 6 : 19 件、R 7 : 18 件（9月末時点）

- ものづくりによる創業希望者に対して、実験設備を備えた創業支援研究室を提供するほか、研究員による技術指導・助言等を行う。

◇ 産業技術研究所運営費交付金等

【R 6 : 1, 799, 987 千円, R 7 : 2, 024, 408 千円】（再掲）

（取組実績）

➤ 創業支援研究室、開放研究室入居数

R 6 : 9 件、R 7 : 9 件（9月末時点）

※入居率 100%

方向性① 国際ビジネス交流の促進

- 姉妹都市（※1）やビジネスパートナー都市（※2）等の都市間ネットワークを活用し、国内での見本市出展や商談会の開催、プロモーションセミナーやトップセールスなどを実施し、海外ビジネスの展開を支援する。

※1 姉妹都市…市民や企業、各種団体など多様な主体が、経済・技術・学術・文化・スポーツなど幅広い分野で交流を推進することを目的とした都市提携。〔都市名〕サンパウロ（ブラジル）、シカゴ（アメリカ）、上海（中国）、メルボルン（オーストラリア）、サンクト・ペテルブルグ（ロシア）、ミラノ（イタリア）、ハンブルク（ドイツ）

※2 ビジネスパートナー都市…アジア太平洋地域を中心とした経済ネットワークを構築し、経済交流を民間レベルで促進するため、大阪市が1988年から進めている都市提携。〔提携先〕香港（中国）、シンガポール、バンコク（タイ）、クアラルンプール（マレーシア）、マニラ（フィリピン）、ジャカルタ（インドネシア）、ソウル（韓国）、上海（中国）、ホーチミン・シティ（ベトナム）、ムンバイ（インド）、メルボルン（オーストラリア）、天津（中国）、オークランド（ニュージーランド）、ハンブルク（ドイツ）

- 上海事務所を設置・運営し、現地でのネットワークを活かして在阪企業のビジネス展開支援を行う。
- 海外展開支援機関と連携してワンストップ窓口を整備し、海外市場や貿易実務、海外販路開拓の専門家によるコンサルティング等、中小企業の海外ビジネス展開の支援を行う。
- 万博を契機として、市内中小企業の魅力を効果的に発信するとともに、海外販路開拓の機会提供による新たなビジネスチャンスの創出を図る。また、来阪する海外企業等のニーズを的確に捉え、ビジネス交流の創出を図る。

◇ 姉妹都市ネットワークを活用した都市間交流の推進

【R6：35,185千円， R7：6,690千円】

◇ 貿易振興事業

【R6：3,600千円， R7：3,600千円】

◇ ビジネスパートナー都市等交流事業

【R6：66,520千円， R7：69,827千円】

◇ 海外事務所の運営

【R6：43,137千円， R7：46,839千円】

◇ 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出

【R6：59,500千円， R7：71,226千円】

◇ 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業

【R6：65,131千円， R7：196,154千円】

◇ 万博を契機とした国際交流の強化

【R7：35,619千円】

◇ 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業（再掲）

【R6：73,487千円， R7：99,787千円】

（取組実績）

➤ 姉妹都市との経済セミナー開催件数

R6：3件、R7：3件（9月末時点）

- 経済ミッション等の派遣
  - R 6 : 3 件、R 7 : 1 件（9 月末時点）
- 海外市場でのビジネス支援事業により、海外展開が企業経営に貢献すると回答した企業の割合
  - R 6 : 95%、R 7 : 95%（9 月末時点）
- 海外商談会開催件数
  - R 6 : 1 件・6 社
- 海外見本市出展支援
  - R 6 : 2 件・7 社
- 国内商談会開催件数
  - R 6 : 4 件、R 7 : 7 件（9 月末時点）
- 国内セミナー開催件数
  - R 6 : 5 件、R 7 : 3 件（9 月末時点）
- 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出
  - 大阪海外ビジネスワンストップ窓口実績
    - R 6 : 問合せ総数 239 件（うち問合せ対応件数 97 件）
    - R 7 : 問合せ総数 345 件（うち問合せ対応件数 332 件）（9 月末時点）
- 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業
  - R 6 :
    - ・ JETRO 海外事務所（7ヶ国）を通じビジネスプロモーションツールを展開
    - ・ インプットセミナーを開催：3 回（英・南ア・印）
    - ・ オンライン商談会を延べ 35 件実施
  - R 7 :
    - ・ 新たに創出したビジネス機会の場：9 件（9 月末時点）
    - ・ ビジネス商談会・大規模商談会におけるビジネスマッチング仲介件数：117 件（9 月末時点）
    - ・ クリエイティブ分野における新規ネットワーク形成件数：278 件（9 月末時点）
- 万博を契機とした国際交流の強化
  - R 7 :
    - ・ ケベック州（カナダ）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（6 月）
    - ・ グレーター・マンチェスター合同行政機構との姉妹都市提携の締結に向けた友好宣言書への調印（6 月）
    - ・ ハンブルク商工会議所ファイナンスプラッツハンブルク（ドイツ）との友好協力関係構築に関する覚書の締結（6 月）
    - ・ クアラルンプール市（マレーシア）と相互パートナーを拡大していくことに関する合意書（LOI）の締結（7 月）
    - ・ グレーター・マンチェスター合同行政機構との姉妹都市提携の締結（9 月）
    - ・ ベンガルール商工会議所（インド）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（9 月）
    - ・ ロッテルダム市（オランダ）との経済交流に関する意向表明書（LOI）の締結（9 月）
    - ・ ウッチ市（ポーランド）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（9 月）
- 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業（再掲）

R6：万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施

R7：万博会場内で9月5～7日に「大阪のものづくり おもしろミライ展」を開催。市内ものづくり企業23社が参画し、延べ10,662人が来場。

#### 方向性② 国際金融都市の実現に向けた取組

- ・大阪に進出を希望する金融系外国企業や外国人投資家等を対象に、金融ライセンス等の専門的な問合せやビジネス相談、生活面での相談に対して、日本語・英語によりワンストップで対応する。
- ・大阪市内に、新たな事業所を設置するに際し、必要な経費の一部について補助金を交付する。
- ・日本及び大阪市域に初めて進出する金融系外国企業等のために地方税（法人市民税）の課税の特例制度を実施する。
- ・金融系外国企業等に対し、個別アプローチによりニーズを把握・分析し、誘致に向けたきめ細やかな伴走支援を実施する。
- ・姉妹都市交流やビジネスパートナー都市など本市がこれまで培ってきたネットワークを活用した、海外トッププロモーションを実施する。
- ・国際金融都市 OSAKA ポータルサイト「Global Financial City Osaka」や、LinkedIn・XなどSNSを活用した情報発信する。

##### ◇ 国際金融都市推進事業

【R6：114,994千円、R7：138,755千円】

##### ◇ 姉妹都市ネットワークを活用した都市間交流の推進

【R6：35,185千円、R7：6,690千円】（再掲）

##### ◇ ビジネスパートナー都市等交流事業

【R6：66,520千円、R7：69,827千円】（再掲）

##### （取組実績）

- 金融庁が金融・資産運用特区の対象地域に大阪府・大阪市を指定（R6.6月）
- 国際金融ワンストップサポートセンター大阪の相談件数  
R6：106件、R7：61件（9月末時点）
- 金融系外国企業等の誘致件数  
R6：11件、R7：3件（9月末時点）
- 姉妹都市との経済セミナー開催件数（再掲）  
R6：3件、R7：3件（9月末時点）
- 経済ミッション等の派遣（再掲）  
R6：3件、R7：1件（9月末時点）
- LinkedInのフォロワー数  
R6：997人、R7：1,201人（9月末時点）

#### 方向性③ 国内外からの投資を呼び込むための魅力的なビジネス環境の整備

- ・大阪府や大阪商工会議所と組織した「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」等と連携し、大阪の投資環境等の関連情報の発信やプロモーション活動を展開する。また、大阪への投資有望企業等の情報収集やアプローチを実施するとともに、進出検討企業の相談窓口の運営、進出準備のための無料オフィスの提供、土地・物件情報の提供など、大阪進出に必要なきめ細かなサポートを実施する。

◇ 企業等誘致・集積推進事業

【R6：73,348千円, R7：74,172千円】

◇ ジェトロを活用した国際人材育成事業

【R6：1,307千円, R7：10,527千円】

(取組実績)

➤ 企業等誘致件数

R6：41件、R7：18件（9月末時点）

➤ 経済ミッション等の派遣（再掲）

R6：3件、R7：1件（9月末時点）

- 企業の本社機能の立地を促進し、大阪のビジネス環境の向上や経済活性化を図るため、市内に本社機能を有する事業所等を新たに設置する事業者へ建物賃借に係る経費の一部を助成する。
- 大阪の成長を支える産業の中核を担う企業の市域への更なる集積を図るため、先端的な技術等の実装化・産業化に資する市内拠点の新増設に係る経費の一部を助成する。
- ライフ・グリーンをはじめとする成長が期待される分野の事業等を行う企業が特区に進出する際、地方税ゼロ制度を適用することによって当該区域への立地を促進・支援する。

◇ 企業等誘致・集積推進事業

【R6：73,348千円, R7：74,172千円】（再掲）

◇ 本社機能立地促進助成事業

【R6：50,243千円, R7：41,107千円】

◇ 市内拠点投資促進事業

【R7：500,479千円】

◇ 国際戦略総合特区における税優遇インセンティブの実施

【(事業運営経費) R6：368千円, R7：371千円】

(取組実績)

➤ BSO（ビジネスサポートオフィス）を利用した企業の市内進出率

R6：100%（11件）、83%（5件）（9月末時点）

➤ 企業等誘致件数（再掲）

R6：41件、R7：18件（9月末時点）

➤ 立地プロモーションセミナーの開催

R6：対面（10月） 参加者数：48人

R7：対面（12月（予定））

➤ 地方税インセンティブ対象の事業計画認定件数：11件（H24.12月-R7.9月末）

- 国家戦略特区や総合特区制度による規制緩和、規制の特例措置、税制支援や金融支援等を活用することにより、大阪の強みを活かした魅力的なビジネス環境の整備を図る。

(取組実績)

➤ 国家戦略特区

大阪市域における区域計画の認定・活用（H26.5月～）：8事業（R7.9月末時点）

➤ 関西イノベーション国際戦略総合特区

大阪市域における区域計画の認定・活用（H23.12月～）：7プロジェクト（R7.9月末時点）

方向性④ 交流人口・関連マーケットの拡大に向けた都市魅力の向上

- 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信に向けて、大阪城エリアの観光拠点化や水と光のまちづくり推進など大阪市内重点エリア等の魅力を強化する。

- ◇ 大阪城エリア観光拠点化事業

【R6：789,884千円, R7：17,529千円】

(取組実績)

【R6】

- ・ 豊臣石垣公開施設の整備工事を実施・完了

【R7】

- ・ 大阪城 豊臣石垣館開館 (R7・4月)

- ◇ 天王寺公園・動物園の魅力向上事業

【R6：50千円, R7：153千円】

(取組実績)

- てんしば集客数

R6：700万人

R7：364万人 (R7.9月末時点)

- ◇ 水と光のまちづくり推進事業

【R6：33,973千円, R7：33,973千円】

- ◇ 大阪・光の饗宴事業

【R6：134,843千円, R7：147,691千円】

- ◇ 御堂筋を活用した大阪の都市魅力発信事業

【R6：230,164千円, R7：167,221千円】

(取組実績)

【R6】

- 舟運利用者数：約136万人

- 大阪・光の饗宴 来街者数：約2,875万人

- 大阪・光の饗宴 エリアプログラム：29団体・30プログラム

中央公会堂プロジェクションマッピングや光のマルシェのほか、舟運事業者や地域等と連携したコンテンツを実施。

【R7】

- 大阪・光の饗宴事業：事業者決定し、周辺施設及び関係機関と調整中 (9月末時点)

- 食や歴史・文化芸術、エンターテインメント、スポーツイベントなど大阪の強みを活かしたイベントや観光コンテンツの造成、魅力体験の場などを設置し、万博期間中の来訪者に大阪の魅力を発信する。

- ◇ 大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業

【R6：350,259千円, R7：370,086千円】

- ◇ 万博ホストシティとしての食のおもてなし事業

【R6：80,000千円, R7：120,000千円】

- ◇ 大阪のにぎわい創出事業

【R7：200,000千円】

- ◇ 水と光を活かした東西軸の魅力創出事業  
【R6：241,532千円、R7：64,799千円】
- ◇ 大阪文化芸術祭事業  
【R6：390,000千円、R7：440,000千円】

(取組実績)

- 大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業
  - 【R6】
    - ・ 大阪デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンを開催（4月～6月）
    - ・ 大阪デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議・エクスカージョンを実施（7月）
    - ・ EXP02025 関西観光推進協議会を開催（4月）
    - ・ 市内及び府域にて集客・周遊イベントを実施  
「大阪来てな！キャンペーン」参加人数：65,650人
  - 【R7】
    - ・ 大阪デスティネーションキャンペーン本キャンペーンを開催（4月～6月）
    - ・ EXP02025 関西観光推進協議会を開催（5月）
    - ・ 市内及び万博会場にて集客・周遊イベントを実施  
「大阪来てな！キャンペーン」参加人数：60,770人（9月末時点）
- 万博ホストシティとしての食のおもてなし事業
  - 【R6】
    - ・ 食のおもてなし会場の設営、食のコンテンツの検討・準備を実施
  - 【R7】
    - ・ 大阪グルメ EXP02025 として開催（4月～10月）
- 大阪のにぎわい創出事業
  - 【R7】
    - ・ 市内及び府域にて大阪のにぎわいを創出する音楽等による大規模な集客イベントを実施（参加人数：61,938人）（9月末時点）
- 水と光を活かした東西軸の魅力創出事業
  - R6：令和7年3月20日より「OSAKA リバーファンタジー」演出開始
  - R7：「OSAKA リバーファンタジー」継続実施
- 大阪文化芸術祭事業の実績
  - 【R6】
    - ・ 文化芸術プログラムへの参加人数：120,020人
  
- ◇ 大阪マラソンの開催  
【R6：90,000千円、R7：90,000千円】
- ◇ スポーツ競技大会の開催  
【R6：17,000千円、R7：17,000千円】
- ◇ ワールドマスターズゲームズ2027 関西  
【R7：10,116千円】
- ◇ X Games Osaka 2025 の開催  
【R7：150,000千円】
- ◇ スポーツを活用した万博機運醸成事業～いのち輝くスポーツプロジェクト～  
【R6：88,629千円】

(取組実績)

【R6】

- ・ 大阪城トライアスロン 2024 開催 (5月)
- ・ 大阪市長杯 2024 世界スーパージュニアテニス選手権大会開催 (9月)
- ・ 大阪マラソン 2025 (第13回大阪マラソン) 開催 (2月)
- ・ 市内4カ所(グランフロント大阪うめきた広場、大阪城公園、てんしば、御堂筋)にて大阪いのち輝くスポーツプロジェクト「おおさかネクスポ 2024」を開催(6月、9月、10月、11月、3月)

【R7】

- ・ 大阪城トライアスロン 2025 開催 (5月)
- ・ X Games Osaka 2025 開催(6月)参加人数:延べ27,000人
- ・ 大阪市長杯 2025 世界スーパージュニアテニス選手権大会開催 (9月)

◇ 舞洲スポーツ振興事業(舞洲プロジェクト)

【R6:4,000千円、R7:4,000千円】

(取組実績)

- ポータルサイトやSNS・オウンドメディアによる舞洲プロジェクト・OSAKA SPORTS GROOVEの魅力発信、OSAKA SPORTS GROOVEのスポーツ体験イベントを実施。
- 学生(大学生等)を対象としたスポーツビジネスコンテストを実施
- OSAKA SPORTS GROOVE 応援デーとして、所属8チームによるホームゲームの市民招待を実施

- ・ 「大阪版DMO」である大阪観光局において、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化などの事業に取り組む。

◇ 大阪観光局事業

【R6:262,112千円、R7:262,112千円】

(取組実績)

- 来阪外国人旅行消費単価

【R6:93,548円】

- ・ 観光客増加に伴い発生する課題の解決に向けて、関係局や大阪府と連携しながら取り組みを進める。

◇ 大阪観光局事業

【R6:262,112千円、R7:262,112千円】(再掲)

◇ JR新大阪駅観光案内所の運営

【R6:19,937千円、R7:18,275千円】

◇ 観光バス乗降場の利便性向上事業

【R6:35,850千円、R7:44,511千円】

◇ 万博会期中のミナミエリアにおける観光バスの迷惑駐車防止啓発事業

【R7:12,914千円】

◇ 飲食店等における外国人観光客受入環境高度化事業

【R6:45,000千円】

(取組実績)

- 多様なツールを持つ大阪観光局や大阪府と連携し、マナー啓発や災害等の非常時における情報発信等を実施。
- 日本橋観光バス乗降場において、誘導員を配置し、観光バス及び観光客の適切な誘導を行うことで安全を確保しながら、観光客の受入れを実施。

#### 方向性⑤ 戦略的な MICE 誘致

- MICE 関連のイベントへの出展を通じて、ユニークベニューやアフターコンベンションなどに活用可能な大阪市内の施設等の情報発信や、大阪で開催される国際会議の誘致・開催を促進するための新たな助成制度の創設に向けて取り組んでいる。

- ◇ 大阪 MICE 誘致戦略の推進（情報発信の強化）

【R 6 : 1,790 千円, R 7 : 1,790 千円】

- ◇ 国際会議開催支援事業

【R 7 : 7,000 千円】

(取組実績)

- Japan MICE EXPO への出展を通じてユニークベニューなどに活用可能な市内施設等の情報を発信。

R 6 : 10 月 18 日～19 日

R 7 : 11 月 27 日～28 日（予定）

- 「大阪 MICE 誘致戦略」に基づき、万博を契機として大阪で開催する国際会議等を積極的に誘致するために、国際会議の主権者に対し必要となる経費の一部を助成するなど、MICE の開催を促進するための取組を実施する。

- ◇ 万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業

【R 6 : 15,750 千円, R 7 : 11,500 千円】

(取組実績)

- 万博を契機とした OSAKA 国際会議助成金による開催支援件数

R 6 : 6 件、R 7 : 4 件（9 月末時点）

- 大規模見本市・展示会場であるインテックス大阪の機能の維持・向上を図る。

- ◇ インテックス大阪補修等工事

【R 6 : 3,194,123 千円, R 7 : 224,980 千円】

(取組実績)

- R 6 : 特別高圧受変電設備改修工事ほか

- R 7 : インテックス大阪業務放送設備改修工事（契約完了）ほか（9 月末時点）

- ◇ インテックス大阪の改修

【R 6 : 59,610 千円, R 7 : 100,390 千円】

(取組実績)

- R 6 : 国際見本市会場（インテックス大阪）メインゲート・プラザ・3 号館改修工事に係る基本設計業務委託ほか

- R 7 : インテックス大阪 3 号館改修工事实設計業務委託（契約完了）ほか（9 月末時点）

- 中小企業への新たな商談機会の提供に向けて、新規展示会の誘致を目的とした展示会主催者への助成を実施する。

◇ 新規展示会誘致助成事業

【R 6 : 18,000 千円, R 7 : 24,000 千円】

(取組実績)

➤ 新規見本市展示会誘致件数

R 6 : 0 件、R 7 : 2 件 (9 月末時点)

➤ 延べ来場者数

R 6 : 0 人、R 7 : 13,677 人 (9 月末時点)

(資料 1)

大阪・関西万博を契機と  
した地域経済活力の向上に  
かかる取組状況について

## 2025 年大阪・関西万博の成功に向けた取組

・2025 年大阪・関西万博の成功に向けて、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」）をはじめ、国や大阪府、経済団体等と密接に連携しながら着実に開催準備を推進する。

## ◇国際博覧会推進事業

【R6：65,800,363 千円，R7：20,435,887 千円】

## ◇大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業

【R6：350,259 千円，R7：370,086 千円】

## ◇水と光を活かした東西軸の魅力創出事業

【R6：241,532 千円，R7：64,799 千円】

## ◇大阪文化芸術祭事業

【R6：390,000 千円，R7：440,000 千円】

## ◇スポーツを活用した万博の機運醸成（～いのち輝くスポーツプロジェクト～）

【R6：88,629 千円】

## ◇飲食店等における外国人観光客受入環境高度化事業

【R6：45,000 千円】

## ◇万博ホストシティとしての食のおもてなし事業

【R6：80,000 千円，R7：120,000 千円】

## ◇大阪のにぎわい創出事業

【R7：200,000 千円】

## ◇万博を契機とした国際交流の強化

【R7：35,619 千円】

## ◇X Games Osaka 2025 の開催

【R7：150,000 千円】

## (取組実績)

## ➤ 「大阪・関西万博」全体運営関連

## R6：

- ・博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- ・博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジ/共創パートナーの募集・新規申請受付（通年）
- ・2025 年大阪・関西万博推進本部会議（第 10 回～12 回）の開催（4 月、9 月、12 月）
- ・博覧会協会において、「持続可能性に配慮した調達コード」を第 3 版として改訂（5 月）
- ・2025 年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会にて「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン第 4 版）」に改定（7 月）
- ・大阪府内の民間・公共施設及びイベントにおいて、万博来場サポートデスクを設置（9 月～3 月）
- ・2025 年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会にて「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン第 5 版）」に改定（12 月）

## R7：

- ・博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- ・2025 年大阪・関西万博推進本部会議（第 13 回）の開催（4 月）

- ・博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジ/共創パートナーの募集・新規申請受付（4月～10月）
- ・大阪府内の民間・公共施設及びイベントにおいて、万博来場サポートデスクを設置（4月～10月）
- ・大阪・関西万博開催期間中の混雑する時期における交通混雑緩和にかかる協力の呼びかけを実施（4月～10月）

➤ 「大阪・関西万博」広報・PR 関連

R6 :

- ・行政ネットワークを活用した取組（全国知事会、指定都市市長会での万博 PR 及び意見交換等）（通年）
- ・公共施設での PR（カウントダウンクロックの設置等）（通年）
- ・関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyaku の派遣等）（通年）
- ・大阪市内都心部を中心に、主要な道路、駅の周辺等において、バナーフラッグやサイネージ等を掲出し、PR を展開（通年）
- ・万博に向けた探求学習「高校生向け EXPO 教育プログラム」にかかる取組を実施（通年）
- ・博覧会協会において設置している「機運醸成委員会」にて、「機運醸成行動計画 ver. 2」を策定（4月）
- ・「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver3.0)」を策定（4月）
- ・博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）
- ・博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（通年）
- ・『開幕1年前「いくぞ！万博」フェスティバル』の実施（4月）
- ・いくぞ！万博 大屋根リング見学ツアー（中学生・高校生向け）を実施（6月～10月）
- ・「高校生 EXPO サミット 2025」の実施（7月）
- ・「EXPO 作文コンクール」（小学生・中学生向け）の募集を開始（8月）
- ・「開幕 250 日前 EXPO ミライ学園祭」の実施（8月）
- ・「万博開幕 6 か月前イベント」の実施（10月）
- ・「高校生 EXPO サミット交流会」の実施（3月）

R7 :

- ・博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（4～6月）
- ・行政ネットワークを活用した取組み（全国知事会、指定都市市長会での万博 PR 及び意見交換等）（4月～10月）
- ・公共施設での PR（横断幕やのぼりの設置等）（4月～10月）
- ・関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyaku の派遣等）（4月～10月）
- ・大阪市内都心部を中心に、主要な道路、駅の周辺等において、バナーフラッグやサイネージ等を掲出し、PR を展開（4月～10月）
- ・博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商

品の製造・販売事業者の募集（4月～12月）

➤ 「大阪・関西万博」大阪ヘルスケアパビリオン関連

R6:

- ・（公社）大阪パビリオンにおいて、同法人が行う契約情報の掲載（通年）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの利活用に関するマーケットサウンディングの結果公表（5月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンアテンダントの募集（5月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者の案内等を担うアテンダントの就任セレモニーを実施（9月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの建物が完成（10月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者の案内等を担うアテンダントの開幕に向けた現地研修を開始（3月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの展示が完成し、開館式を開催（3月）
- ・大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（9月、3月）

R7:

- ・（公社）大阪パビリオンにおいて、同法人が行う契約情報の掲載（通年）
- ・大阪・関西万博の開幕を記念した大阪ヘルスケアパビリオン開幕イベントを開催（4月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「リボーンチャレンジ」の実施（4～10月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「リボーンステージ」を活用した行催事の開催（4～10月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン」の実施（4～10月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者数が100万人を突破し、記念セレモニーを実施（5月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者数が200万人を突破し、記念セレモニーを実施（7月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者数が300万人を突破し、記念セレモニーを実施（8月）
- ・大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（8月）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンの来館者数が400万人を突破し、記念セレモニーを実施（9月）

➤ 「大阪・関西万博」大阪ウィーク関連

R6:

- ・大阪の魅力や特色を発信する様々な催事を「（仮称）大阪ウィーク」として開催できるよう、企画調整・実施運營業務の委託事業者を決定（4月）
- ・大阪ウィークの公式サイトとプロモーション動画を公開（10月）
- ・大阪ウィークのメディア発表会を実施（1月）

R7:

- ・「大阪ウィーク～春～」を開催（5月）
- ・「大阪ウィーク～夏～」を開催（7月）
- ・「大阪ウィーク～秋～」を開催（9月）

- > 「大阪・関西万博」ボランティア関連
  - R 6 :
    - ・大阪・関西万博ボランティアの抽選結果通知及び面談開始（6月）
    - ・大阪・関西万博ボランティアの研修開始（10月）
    - ・大阪・関西万博ボランティアの団結式実施（3月）
  - R 7 :
    - ・大阪まちボランティアの大阪府内計9か所における活動の運営（4月～10月）
    - ・ボランティア間での交流イベントや活動意欲の維持及び向上施策の実施（4月～10月）
  
- > 大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業
  - R 6 :
    - ・大阪デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンを開催（4月～6月）
    - ・大阪デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議・エクスカージョンを実施（7月）
    - ・EXP02025 関西観光推進協議会を開催（4月）
    - ・市内及び府域にて集客・周遊イベントを実施  
「大阪来てな！キャンペーン」参加人数：65,650人
  - R 7 :
    - ・大阪デスティネーションキャンペーン本キャンペーンを開催（4月～6月）
    - ・EXP02025 関西観光推進協議会を開催（5月）
    - ・市内及び万博会場にて集客・周遊イベントを実施  
「大阪来てな！キャンペーン」参加人数：60,770人（9月時点）
  
- > 水と光を活かした東西軸の魅力創出事業
  - R 6 : 令和7年3月20日より「OSAKA リバーファンタジー」演出開始
  - R 7 : 「OSAKA リバーファンタジー」継続実施
  
- > 大阪文化芸術祭事業
  - R 6 : 文化芸術プログラムへの参加人数：120,020人
  
- > スポーツを活用した万博の機運醸成（～いのち輝くスポーツプロジェクト～）
  - R 6 : 市内4カ所（グランフロント大阪うめきた広場、大阪城公園、てんしば、御堂筋）にて大阪いのち輝くスポーツプロジェクト「おおさかネクスポ2024」を開催（6月、9月、10月、11月、3月）
  
- > 飲食店等における外国人観光客受入環境高度化事業
  - R 6 : 事業開始（7月）
  
- > 万博ホストシティとしての食のおもてなし事業
  - R 6 : 食のおもてなし会場の設営、食のコンテンツの検討・準備を実施
  - R 7 : 大阪グルメ EXP02025 として開催（4月～10月）

- 大阪のにぎわい創出事業
  - R7：市内及び府域にて大阪のにぎわいを創出する音楽等による大規模な集客イベントを実施（参加人数：61,938人）（9月末時点）
  
- 万博を契機とした国際交流の強化
  - R7：
    - ・ケベック州（カナダ）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（6月）
    - ・グレーター・マンチェスター合同行政機構との姉妹都市提携の締結に向けた友好宣言書への調印（6月）
    - ・ハンブルク商工会議所ファイナンスプラッツハンブルク（ドイツ）との友好協力関係構築に関する覚書の締結（6月）
    - ・クアラルンプール市（マレーシア）と相互パートナーを拡大していくことに関する合意書（LOI）の締結（7月）
    - ・グレーター・マンチェスター合同行政機構との姉妹都市提携の締結（9月）
    - ・ベンガルール商工会議所（インド）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（9月）
    - ・ロッテルダム市（オランダ）との経済交流に関する意向表明書（LOI）の締結（9月）
    - ・ウッチ市（ポーランド）との経済分野に関する覚書（MOU）の締結（9月）
  
- X Games Osaka 2025 開催
  - R7：X Games Osaka 2025 開催（6月）参加人数：延べ27,000人

地域産業魅力の世界への発信、海外販路開拓の支援

- 卓越した技術、独自の製品・サービス等の地域の産業資源などの魅力を世界に向けて情報発信し、中小企業の海外販路の開拓等を支援する。
  - ◇頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業
    - 【R6：40,069千円】
  - ◇万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業
    - 【R6：15,750千円，R7：11,500千円】
  - ◇万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業
    - 【R6：73,487千円，R7：99,787千円】
  - ◇海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出
    - 【R6：59,500千円，R7：71,226千円】
  - ◇大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業
    - 【R6：65,131千円，R7：196,154千円】
  - ◇国際会議開催支援
    - 【R7：7,000千円】
- （取組実績）
  - 頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業による経営力強化件数
    - R6：74件
  - 万博を契機とした OSAKA 国際会議助成金による開催支援件数
    - R6：6件、R7：4件（9月末時点）

- 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業
  - R 6 : 万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施
  - R 7 : 万博会場内で9月5～7日に「大阪のものづくり おもろいミライ展」を開催。市内ものづくり企業 23 社が参画し、延べ 10,662 人が来場。
  
- 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出
  - 大阪海外ビジネスワンストップ窓口実績
  - R 6 : 問合せ総数 239 件（うち問合せ対応件数 97 件）
  - R 7 : 問合せ総数 345 件（うち問合せ対応件数 332 件）（9 月末時点）
  
- 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業
  - R 6 :
    - ・JETRO 海外事務所（7ヶ国）を通じビジネスプロモーションツールを展開
    - ・インプットセミナーを開催：3回（英・南ア・印）
    - ・オンライン商談会を延べ 35 件実施
  - R 7 :
    - ・新たに創出したビジネス機会の場：9 件（9 月末時点）
    - ・ビジネス商談会・大規模商談会におけるビジネスマッチング仲介件数：117 件（9 月末時点）
    - ・クリエイティブ分野における新規ネットワーク形成件数：278 件（9 月末時点）

#### 大阪・関西万博を見据えた中小企業等による新ビジネス創出の支援

- ・大阪・関西万博と関連の深いウェルネスやライフサイエンス分野、大阪でのスマートシティ化の動き、第 4 次産業革命の進展等に関連し、新たな製品・サービス開発や新事業展開、大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」を先取りした実証実験の支援など、中小企業等の革新に向けたチャレンジを促進する。

#### ◇大阪産業局事業交付金

【R 6 : 679,644 千円, R 7 : 668,170 千円】

#### ◇5Gビジネス創出プロジェクト

【R 6 : 81,323 千円, R 7 : 57,196 千円】

#### ◇カーボンニュートラル（CN）等新技術ビジネス創出支援事業

【R 6 : 30,000 千円, R 7 : 30,000 千円】

#### ◇イノベーション創出にかかる事務費

【R 6 : 138,286 千円, R 7 : 141,826 千円】

#### ◇万博を契機としたものづくり中小企業の技術開発支援事業（Beyond5G）

【R 6 : 82,910 千円, R 7 : 19,500 千円】

#### ◇「空飛ぶクルマ」社会実装促進事業

【R 6 : 224,560 千円, R 7 : 248,103 千円】

#### ◇市内拠点投資促進事業

【R 7 : 500,479 千円】

#### ◇新たなグローバルスタートアップイベントの開催

【R 7 : 128,000 千円】

（取組実績）

- ソフト産業プラザ（インキュベーションオフィス）入居率  
R6：79.4%、R7：94.7%（9月末時点）
- 5Gの技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」において「5Gビジネス創出プロジェクト」として、5Gの機運醸成からビジネス構築までの各種プログラム（セミナー・研究会、ビジネスプランコンテスト、マッチングプログラム、5Gビジネス補助事業）を実施。（R3～）
- 実証実験の支援件数（IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラムによる支援件数）  
R6：14件、R7：14件（9月末時点）
- 万博を契機としたものづくり中小企業の技術開発支援事業（Beyond5G）  
R6：対象事業者の研究開発を技術的にサポート、測定システムを拡充  
R7：大阪・関西万博大阪ヘルスケアパビリオン「リボンチャレンジ」にて展示（令和7年8月26日～9月1日）、製品化に向けた最適化を実施し試作品を作製予定（9月末時点）
- 「空飛ぶクルマ」社会実装促進事業  
R6：空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助対象事業として7件交付決定  
R7：空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助対象事業として6件交付決定（9月末時点）
- 新たなグローバルスタートアップイベントの開催  
新たなグローバルスタートアップイベントの参加者数（オンライン参加含む）  
R7：約3,500人

#### 大阪・関西万博への企業参画機会の提供

・関係機関等と連携し、企画立案に資する企業等からの提案受付や対応を行うほか、様々な形態での出展（パビリオン、期間限定、小規模、バーチャル等）や営業参画のあり方などについて検討を進め、中小企業等への参画機会の提供につなげる。

##### ◇国際博覧会推進事業

【R6：65,800,363千円、R7：20,435,887千円】（再掲）

##### ◇大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業

【R6：65,131千円、R7：196,154千円】（再掲）

##### ◇海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出

【R6：59,500千円、R7：71,226千円】（再掲）

##### ◇万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業

【R6：73,487千円、R7：99,787千円】（再掲）

（取組実績）

##### ➤ 「大阪・関西万博」全体運営関連

R6：

- ・博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- ・博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジ/共創パートナーの募集・新規申請受付（通年）（再掲）

R7：

- ・博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- ・博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジ/共創パートナーの募集・新規申請受付（4月～10月）（再掲）

➤ 「大阪・関西万博」広報・PR 関連

R 6 :

- ・博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）（再掲）
- ・博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（通年）（再掲）
- ・関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyakuの派遣等）（通年）（再掲）

R 7 :

- ・関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyakuの派遣等）（4月～10月）（再掲）
- ・博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（4月～12月）（再掲）
- ・博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（4～6月）（再掲）

➤ 「大阪・関西万博」大阪ヘルスケアパビリオン関連

R 6 :

- ・(公社)大阪パビリオンにおいて、同法人が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- ・大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（9月、3月）（再掲）

R 7 :

- ・(公社)大阪パビリオンにおいて、同法人が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「リボーンチャレンジ」の実施（4～10月）（再掲）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「リボーンステージ」を活用した行催事の開催（4～10月）（再掲）
- ・大阪ヘルスケアパビリオンにおいて、「バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン」の実施（4～10月）（再掲）

➤ 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業

R 6 :

- ・JETRO 海外事務所（7ヶ国）を通じビジネスプロモーションツールを展開（再掲）
- ・インプットセミナーを開催：3回（英・南ア・印）（再掲）
- ・オンライン商談会を延べ35件実施（再掲）

R 7 :

- ・新たに創出したビジネス機会の場：9件（9月末時点）（再掲）
- ・ビジネス商談会・大規模商談会におけるビジネスマッチング仲介件数：117件（9月末時点）（再掲）
- ・クリエイティブ分野における新規ネットワーク形成件数：278件（9月末時点）（再掲）

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出<br/>大阪海外ビジネスワンストップ窓口実績<br/>R6：問合せ総数 239 件（うち問合せ対応件数 97 件）（再掲）<br/>R7：問合せ総数 345 件（うち問合せ対応件数 332 件）（9 月末時点）（再掲）</li><br/><li>➤ 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業<br/>R6：万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施（再掲）<br/>R7：万博会場内で9月5～7日に「大阪のものづくり おもろいミライ展」を開催。市内ものづくり企業 23 社が参画し、延べ 10,662 人が来場。（9 月末時点）（再掲）</li></ul> |
|--|--|

(資料 2)  
定量的指標等

# 定量的指標等

## ①KPI

	指標	目標値	現状
戦略Ⅰ	大阪産業創造館における経営力強化件数	2025～2029年度 6,000件	2024年度 449件 2025年度 779件（9月末時点）
	大阪産業技術研究所による企業支援研究実施件数	年 128件	2024年度 100件 2025年度 68件（9月末時点）
戦略Ⅱ	大阪イノベーションハブ等の支援による新たなプロジェクトの創出・推進支援件数	2021～2025年度 412件	2021年度 80件 2022年度 83件 2023年度 98件 2024年度 99件
	大阪産業創造館の支援事業による創業・起業件数	2025～2029年度 650件	2024年度 137件 2025年度 88件（9月末時点）
戦略Ⅲ	大阪外国企業誘致センターによる誘致件数	2023～2025年度 90件	2023年度 34件 2024年度 31件 2025年度 16件（9月末時点）
	大阪への金融系外国企業・投資家等の誘致数	2022～2025年度 30件	2022年度 1件 2023年度 12件 2024年度 11件 2025年度 3件（9月末時点）

0

# 定量的指標等

## ②参考指標

指標	プラン策定（2025年3月）時点	現状
実質経済成長率（大阪市内）	2021年度 実質経済成長率 3.6%	2021年度 実質経済成長率 3.6%
大阪産業局の支援企業における売上高変化DI値／損益変化DI値（府内DI値に対する上乗せするポイント）	2020～2023年度の実績平均 売上高変化DI値 20ポイント 損益変化DI値 14ポイント	2020～2024年度の実績平均 売上高変化DI値 18ポイント 損益変化DI値 11ポイント
大阪産業創造館の認知度・利用度、利用者満足度	2024年度 認知度 51.0%、利用度 21.6% 2023年度 利用者満足度 96.0%	2025年度 認知度 43.8%、利用度 21.3% 2024年度 利用者満足度 95.7%
OIH等によるスタートアップ等における資金調達額	2023年度 93億円	2024年度 186億円
延べ宿泊者数（大阪府）	2023年 50,701,480人 （うち、外国人18,755,090人、日本人31,946,390人）	2024年 57,431,520人 （うち、外国人25,393,930人、日本人32,037,590人）
訪日外国人旅行消費額（大阪府）	2023年（4～12月） 7,272億円	2024年（4～12月） 12,935億円
国際会議ランキング[ICCA]	2023年 アジア・大洋州地域23位相当（世界116位以内相当）	2024年 アジア・大洋州地域16位相当（世界82位以内相当）
大阪税関管内輸出入額	2023年 13兆3,179億26百万円	2024年 13兆9,922億3百万円

1